

徳願寺は、徳川家と宮本武蔵ゆかりの伝説が残る寺です。行徳は、他にも法善寺などたくさんのお寺がある寺の街として知られています。

# と

徳願寺 とくがんじ  
行徳の道 ぎょうとく みち  
寺の街 てら まち

亀井院の裏庭に、手児奈が水を汲んだという言い伝えがある真間の井があります。

# て

手児奈来て てこな き  
水汲む真間の井 みずく まま い  
亀井院 かめいん

法華経寺参道総門近くにある清華園の庭園では、春の梅やしだれ桜のほか、和紙の原料になるみつまたが咲きます。

# つ

疲れたら つか  
ほつとひと息 いそぎ  
清華園 せいかえん

真間のつぎはしは、その昔、点々と続いていた砂州をつないでいた橋。歌枕として数々の宮廷歌人にも詠われています。

# ち

小さいが ちい  
洲と洲を結ぶ す す むす  
古跡のつぎはし こせき

毎年ゴールデンウィークになると「国分川鯉のぼりフェスティバル」が開催され、国分川の関下橋周辺及び国分 調節池にて数百匹の鯉のぼりが掲揚されます。

# ね

ネコ見上げ みあ  
国分川泳ぐ こくぶがわ およ  
鯉のぼり こい

真間山弘法寺の正面石段の下から27段目にある石。石段は千個以上の石からなりますが、この石だけ涙を流すかのようにいつも濡れ続けています。

# ぬ

ぬれている そやかいづか  
何を悲しむ なに かな  
涙石 なみだいし

駒形大神社(大野町)で毎年1月20日に行われる伝統行事「にらめっこおびしゃ」は市川市市指定民俗文化財になっています。

# に

にらめっこ こまがたどう  
おびしゃで祈願 きがん  
駒形大神社 こまがただいじんじや

法華経寺開祖の日常上人の死を悲しんで日頂上人が木の元で泣きあかしたという伝説から「泣き銀杏」の名がついたとされています。近くには駒形堂もあります。

# な

泣き銀杏 な いちよう  
悲しみ深き かな ふか  
駒形堂 こまがたどう